



ガルバノスキャンヘッド - 周辺機器を一括コントロール

RTC シリーズは、SCANLAB 製ガルバノヘッド、Z軸フォーカスユニット、レーザやその他周辺機器の一括制御が可能な多機能コントロールボードです。高性能シグナルプロセッサを搭載し、DLL による WindowsPC で容易にプログラムの作成が可能です。スキャンシステム及びレーザ、周辺機器への信号出力 / 入力は 10 μ s ごと * に実行されます。新たな通信仕様 SL2-100 プロトコルの採用により、分解能 20 bit の高解像度を実現。より高精度な精密加工が可能です。

* レーザ信号は 1/64 μ s 周期

仕様比較

	RTC6	RTC5
PC インタフェース	PCIe, Ethernet ⁽¹⁾	PCI, PCIe
SCANahead コントロール	オプション対応	-
レーザ同期	RTC クロック外部同期	レーザ出力信号同期
ピクセル周波数 (ビットマップモード)	最大 800 kHz	最大 308 kHz
UltraFastPixelMode(UFPM)	最大 3.2 MHz (オプション)	-
リストメモリ	800 万リストコマンド	100 万リストコマンド
3D コレクションファイル	最大 8 つまで切り替え可能	最大 2 つまで切り替え可能
出力周期	10 μ s	10 μ s
通信プロトコル ⁽²⁾	SL2-100	SL2-100
ソフトウェアドライバ	Windows 10/ 8/ 7 (32-bit and 64-bit)	Windows 10/ 8/ 7 (32-bit and 64-bit) Vista/ XP (SP2 以降)

(1) Ethernet タイプは stand-alone mode を搭載。Box type のお取り扱いもごございます。詳細はお問い合わせください。

(2) XY2-100 に対応した RTC4、もしくは XY2-100 コンバータもご用意しております。

システム要件

- ハードウェア
 - ・デスクトップ PC (フルサイズ PCI/PCIe バス付)
- ソフトウェア (付属)
 - ・ RTC ドライバ
 - ・ RTC 用 DLL ファイル等



RTC6 EtherBOX: RTC6 Ethernet Box type

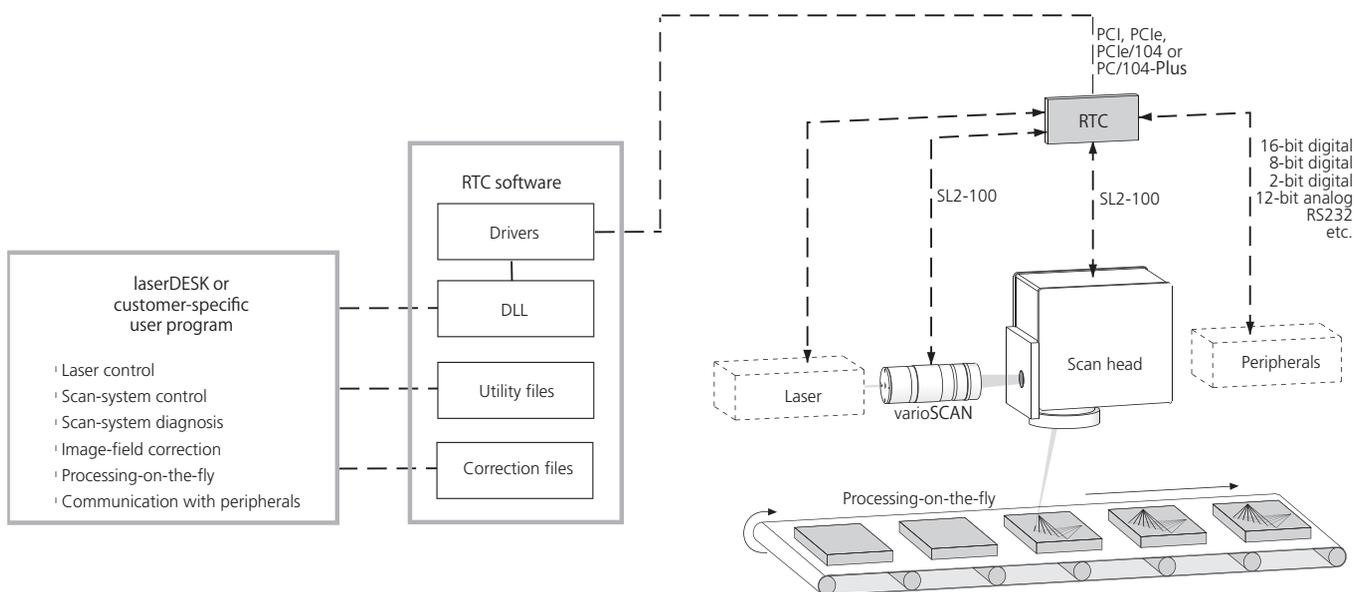
主要機能

- ・ コマンド : レーザパラメータやスキャナパラメータ設定、マーク・ジャンプ・円/だ円等のマーキングコマンド、スカイライティング、日付・時間・シリアル番号マーキング等、デジタルヘッド情報取得 (iDRIVE 機能)
(対応プログラム言語 : Pascal, C, C++, C#/ マーキングソフトウェア : laserDESK)
- ・ スキャンヘッドの制御 : D-sub 9 ピンコネクタ
- ・ レーザ発振器の制御 : D-sub 15 ピンコネクタ
- ・ 周辺機器の制御 (用途例)
 - IO ポート等 (16 bit デジタル入力/出力)
 - レーザパワーのデジタル設定等 (8 bit デジタル出力)
 - レーザ発振器用 IO ポート等 (2 bit デジタル入力/出力)
 - レーザパワーのアナログ設定等 (12 bit アナログ出力 (0 - 10 V))
 - ポジション信号取得等 (McBSP インタフェース)
 - ステッピングモータ制御等 (ステップモータ信号)

オプション

- オン・ザ・フライ加工
(エンコーダ入力 32 bit
最大同時 2 つまで入力可能)
- 3 軸スキャンシステム制御
(2D スキャンヘッドと Z 軸
フォーカスユニットを同時制御)
- セカンドスキャンヘッド制御
(2D スキャンヘッドを 2 台同時に
同じ動作で制御)

機器構成例



お問い合わせはこちら

scansol
scan for intelligence

国内総代理店

株式会社スキャンソル

Tel: 042-320-5011

Fax: 042-320-5012

E-mail: info@scansol.co.jp

Website: <http://www.scansol.co.jp>